

# なかがわ

第35号

平成31年3月31日  
発行/那珂川沿岸農業水利事業推進協議会  
TEL・FAX 029-227-0311  
茨城県水戸市中河内町958番地の1



常陸大宮市三美：造成中の国営那珂川取水口と県営畠地帯総合整備事業「三美地区」

## 「那珂川沿岸地域における「儲かる農業」の実現」



茨城県農林水産部  
農地局長 根本 力

皆様には、日頃より国営那珂川沿岸農業水利事業をはじめ、本県農業農村整備事業の推進に格別のご支援、ご協力をいただきてありますことに厚く御礼申し上げます。

さて、本県の農業を取り巻く情勢は、皆様のご尽力により全国有数の農業産出額を誇っていますが、販売農家一戸当たりの農業所得に目を向けますとまだまだ低い位置に留まっています。今後、人口減少に伴う国内市場の縮小やグローバル化の急速な進行が見込まれる中において、生産性や付加価値の向上、国内外の需要開拓を図る取組などにより収益をしっかりと上げ、次の世代に繋いでいける力強い茨城農業を築いていくことが重要であります。

県といたしましては、ICT等の先進技術の導入や本県農林水産物のブランド化、6次産業化等による付加価値の向上に加え、海外に本県農林水産業の魅力を直接発信する取組などにより、国内外への販路拡大を図ってまいりますとともに、経営感覚に優れた農業経営体の育成や法人等の参入を進める取組などを通じて、「儲かる農業」を実現してまいります。

農業・農村の整備につきましては、低コストで生産性の高い水田や高品質な青果物を安定供給できる畠地の整備を進めるとともに、老朽化が進む農業水利施設等の計画的な補修・更新や防災・減災対策に取り組んでまいります。また、美しく元気な農村づくりに向けて、地域資源を活用した農村の活性化や鳥獣被害防止対策を進めるとともに、国土の保全や水源のかん養などの農業・農村の有する多

面的機能の維持・發揮にも取り組んでまいります。

国営那珂川沿岸農業水利事業につきましては、国をはじめ関係市町村、改良区の皆様のご尽力により基幹となる用水施設の整備が着実に進んでおり、懸案でありました漁協から国土交通省に対する霞ヶ浦導水訴訟も昨年和解し、那珂川揚水機場の取水口建設に向けた関係者との協議が始まるとともに、新たに柳沢機場の建設工事や大杉山揚水機場の改修工事に今年より着手する予定と伺っており、今後、通水に向けた整備が加速化していくものと期待しております。

国営事業に付帯する関連事業として県営畠地帯総合整備事業を実施している三美地区（常陸大宮市）では、区画整理工事と併せて整備している畠地かんがい施設を当初計画より拡大して整備が完了し、JA出資の生産法人が地域の担い手として大規模にネギなどの作付けを行っており早期着水を待ち望んでいるほか、柳河地区（水戸市）では、事業を契機に地区外からの新たな担い手の参入や、本県で三件目となる地理的表示（GI）保護制度への登録がされた「水戸の柔甘ねぎ」の生産に新規就農者が取り組むなど、畠地かんがいを活用した営農の機運が高まってきてあります。

那珂川沿岸地域が競争力のある産地として発展していくためには、本地域の有する地理的条件等の優位性を活かしながら、安定した用水により計画的かつ収益性の高い営農を展開していくことが不可欠であります。

県といたしましては、国営事業をはじめ関連事業の早期完成を目指してまいりますとともに、近年創設された地元負担金を伴わない土地改良事業の活用など、新たな畠地整備事業化に向けた啓発推進に取り組み、各地域で「事業を実施してよかったです」との声が聞かれるよう全力で推進してまいりたいと考えてありますので、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 国営農業水利事業を推進する3組織の主なる会議

区分	開催日	会議名	主な内容
基 金 協 会	H30. 5.11	第21回理 事 会	H29事業報告及び決算等
	H30. 5.29	第12回評議員会 (書面議決)	H29事業報告及び決算、理事及び監事の選任
	H30. 6.18	第22回理 事 会 (書面議決)	役員（理事長、副理事長、常務理事）の選定
	H30.10. 9	第23回理 事 会 (書面議決)	H30資金の運用方針、国債の購入
	H31. 2.18	第24回理 事 会	H31事業計画及び収支予算、H31各負担金、H31資産の管理方法
	H31. 3. 6	第13回評議員会 (書面議決)	評議員の選任
推 進 協 議 会	H30. 5.11	幹 事 会	H29事業報告及び決算、H30事業計画及び収支予算、国営那珂川沿岸農業水利事業の実施状況と今後の予定及びH30関連事業の報告等
	H30. 5.29	第39回通常総会	H29事業報告及び決算、H30事業計画及び収支予算、役員の選出、参与の委嘱等、国営那珂川沿岸農業水利事業の実施状況と今後の予定及びH30関連事業の報告等
土 地 改 良 区	H30. 6.19	第1回監 事 会	H29事業報告及び決算等、H29監査報告書の作成
	H30.11. 1	第1回理 事 会	H29事業報告及び決算等、国営・県営那珂川沿岸農業水利事業等の実施状況とこれからの実施予定の報告等
	H31. 1.31	第2回監 事 会	H31監査計画、H30事務事業執行状況、一般会計、積立金・地区除外決済金・土地改良事業特別会計収入支出予算の執行状況、H30中間監査報告書の作成
	H31. 2. 7	第2回理 事 会	H30一般会計・特別会計補正予算、諸規程の改正、H31事業計画、賦課金の賦課、一般会計、積立金・地区除外決済金・土地改良事業特別会計予算、役員の選任等、中間監査、諸規程の専決事項、国営・県営那珂川沿岸農業水利事業等の実施状況と今後の実施予定の報告等
	H31. 3. 1	第27回通常総代会	H29事業報告及び決算、H30一般会計、特別会計補正予算、H31事業計画、賦課金の賦課、一般会計・積立金・地区除外決済金・土地改良事業特別会計予算、役員の選任等、中間監査、国営・県営那珂川沿岸農業水利事業等の実施状況と今後の実施予定の報告等
		第3回理事会	副理事長の選任
			

第27回通常総代会開催状況

## 御前山ダム施設見学について

現在までに、各種様々な団体等が「御前山ダム」を見学しています。  
「御前山ダム」の施設見学を希望される場合は、

関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所  
(水戸市中河内町 960-1 ☎ 029-227-7571)

または、

那珂川沿岸農業水利事業推進協議会  
(水戸市中河内町 958-1 ☎ 029-227-0311)

に申し込みをお願い致します。  
※見学時間は事業概要とダムの施設見学で概ね1時間程度です。



# 那珂川沿岸土地改良区の平成29年度財務状況の公表

## 一般会計収支決算

### 【収入の部】

### 【支出の部】

(単位：円)

科目(款)	決算額	構成比(%)	科目(款)	決算額	構成比(%)
組合費	209,752	0.5	事務費	14,358,994	42.4
補助金・負担金	31,361,309	70.4	選挙費	100,000	0.3
受託料	1,782,000	4.0	分担金	14,033,309	41.5
繰入金	29,700	0.1	事業費	5,161,903	15.2
雑収入	39,123	0.1	諸支出金	200,000	0.6
繰越金	11,096,158	24.9	予備費	0	0.0
収入合計	44,518,042	100.0	支出合計	33,854,20	100.0

## 特別会計収支決算

(単位：円)

特別会計名	翌年度繰越額	特別会計名	翌年度繰越額
職員退職給与積立金特別会計	21,877,116	地区除外決済金特別会計	0
総代選挙費積立金特別会計	708,348	土地改良事業特別会計	11,057,974

## 財産目録

### 【資産の部】

### 【負債の部】

(単位：円)

流動資産 (預金)	一般会計	10,663,836	長期負債	7,914,763
	土地改良事業特別会計	11,057,974	引当金	22,585,464
固定資産(有形・無形)		2,071,232		
その他固定資産(特定資産)		22,585,464		
合計		46,378,506	合計	30,500,227

# 那珂川沿岸土地改良区の平成31年度予算について

## 一般会計

### 【収入の部】

### 【支出の部】

(単位：円)

科目(款)	予算額	前年度比	科目(款)	予算額	前年度比
組合費	210,000	0	事務費	15,237,000	200,000
補助金・負担金	33,460,500	0	選挙費	100,000	0
受託料	1,827,000	44,000	分担金	16,057,500	0
繰入金	29,700	0	事業費	7,745,000	150,000
雑収入	40,800	0	諸支出金	300,000	0
繰越金	11,000,000	1,000,000	予備費	7,128,500	694,000
収入合計	46,568,000	1,044,000	支出合計	46,568,000	1,044,000

## 特別会計

(単位：円)

種別	予算額	種別	予算額
職員退職給与積立金特別会計	22,285,000	地区除外決裁金特別会計	3,000
総代選挙費積立金特別会計	910,000	土地改良事業特別会計	11,554,000

# 畑かん営農及び国営事業推進のため、

## 先進地視察研修会（那須野ヶ原土地改良区連合）を開催

(1) 開催日 平成 30 年 7 月 25 日 (水) 参加者数 36 名

(2) 研修先と内容

### ①那須野ヶ原土地改良区連合（栃木県那須塩原市）

- ・ 研修は、土地改良施設概要と施設管理体制。
- ・ 維持管理は各水利用エリア毎の 3 委員会（連合、幹線、支線）の職務每に行っている。
- ・ 小水力発電事業からの維持管理費軽減の他に、各種補助事業（基幹水利施設管理事業、国営造成施設管理体制整備促進事業等）を導入している。
- ・ 農家負担の軽減のため積極的に取り組まれる事業について研修を受けました。



那須野ヶ原土地改良区連合における研修状況

### ②現地研修会（土地改良施設と畑地かんがい施設（アスパラガス））

- ・ 現地研修は、取水施設の西岩崎頭首工と畑地かんがい施設。現地圃場（那須野ヶ原土地改良区連合管内）の作物はアスパラガス。那須野ヶ原地区の用水はハウス内かん水に利用され、ハウス内温度を下げている。かん水の有無により収量に大きく差が出る。収穫繁忙期は春。
- ・ 農業用水路の遊休落差を利用した発電事業「那須野ヶ原発電所」については維持管理費の軽減に大活躍。
- ・ 施設の維持管理と用水を活用した営農状況について、現地において研修を受けました。



畑地かんがい施設と営農の研修状況

### ③意見交換

- ・ 那須野ヶ原用水を活用する土地改良施設の維持管理と、大規模な施設による良質なアスパラガス栽培の取り組みについて、盛んな質疑応答が交わされました。

－那珂川沿岸農業水利事業推進協議会主催－

## 畑かん営農モデル地区（荒川中部地区）現地研修会を開催

(1) 開催日 平成 30 年 10 月 17 日 (水) 参加者数 55 名

(2) 研修先と内容

### ①荒川中部土地改良区（埼玉県深谷市）

- ・ 研修は、国営事業概要と土地改良施設管理業務。
- ・ 造成後約 50 年が経過する国営施設の老朽化の改修と用水再編を行い、関連事業についても用水路改修と畑地かんがい施設の整備により農業用水の安定化を図った。
- ・ 取水は玉淀ダムから導水幹線（トンネル、暗渠、開渠）から左右分水工により左右幹線に分岐。県営用水路を経て末端水路へ用水を供給。年間を通して取水という維持管理の研修を受けました。



荒川中部土地改良区における研修状況

### ②現地研修会（国営用水を活用した施設・露地営農の展開）

- ・ 研修は、ユリ（出荷量全国 1 位）の施設栽培とプロッコリー（出荷量全国 2 位）の露地栽培。
- ・ 施設栽培のユリは周年出荷の切花栽培（球根は輸入会社を設立して海外 4 ケ国から輸入）であり、1 圃場を年 4 回転の栽培。出荷先は市場 7 割、その他スーパーマーケット等。東北地方（仙台）から九州地方（福岡）に出荷している。
- ・ 露地栽培のプロッコリーは、夏場の定植時はチューブかん水が必ず必要。プロッコリーの選択は、圃場の排水性や省労力の関係であった。この地域は養蚕業が盛んであったが、近年、養蚕農家の減少に伴う畑かん営農の増加により、計画水量が不足しており、地域において畑地かんがいのための基盤整備を検討中。

# 優良先進地の視察研修会を開催！

- 農業は生産ロスと作業コストを少なくすることが大事であり、基盤整備による農地集積は重要。用水は規模拡大と生産ロス減少のために必要不可欠という研修を受けました。

## ③意見交換

- 荒川中部地区における畑地かんがい施設利用について営農推進の必要性等と作物の栽培計画、出荷に関する意見交換等が交わされました。



施設栽培における研修状況



露地栽培における研修状況

－公益財団法人 那珂川沿岸土地改良基金協会主催－

## 畑かん営農モデル地区（笠間市・つくば市）現地研修会を開催

(1) 開催日 平成 30 年 11 月 14 日（水） 参加者数 40 名

(2) 研修先と内容

### ①茨城県農業総合センター園芸研究所（茨城県笠間市）

- ハウス軒高 4.2m、ワイヤー誘引高 3.0m、追肥は液肥。
- 高軒高ハウス、CO<sub>2</sub> 施用等を活用したトマト栽培技術の開発と高軒高を生かしたワイヤー誘引による葉面積増は、光合成効率を確保した。
- 更なる光合成効率上昇のため、必要に応じた温湿度調整、かん水、CO<sub>2</sub> の散布を機械制御により行い、収穫量を 12t/10a から 43t/10a に高めた施設栽培技術の開発状況について研修を受けました。



茨城県農業総合センター園芸研究所における研修状況

### ②株式会社 HATAKE カンパニー（茨城県つくば市）

- 栽培作物はベビーリーフ（小松菜、レタス、ルッコラ、水菜、レッドマスター、パクチー、加工用ほうれん草等）。（※ベビーリーフとは葉丈 10 ~ 15 cm で葉柄部分の収穫作物の総称） 反収は少ないが、年 5 ~ 7 作の栽培にて収益がある。
- 生産は機械化（要望により手摘みあり）。県内 14 圃場で栽培中（圃場毎に生産品目を分けている）。
- 圃場の土作りは、土壤分析により適合する施肥による。
- かん水は葉物の苗立ちを増やし収穫時期を揃える効果がある。畑地かんがいにより夏期に収穫量が確保でき、通年で安定的な生産出荷を可能としている。
- 各圃場の収穫作物は工場にて選別と袋詰めされ、全てが契約出荷されている。出荷先は近隣から都内、中京エリアのスーパー・マーケット、レストラン。栽培圃場から収穫作物の工場における加工状況について研修を受けました。



株式会社 HATAKE カンパニーにおける研修状況

### ③意見交換

- 本日の研修は、那珂川沿岸地区内の受益農家が参加し、高度な施設栽培技術の開発状況と通年で安定的な生産出荷は畑地かんがいが可能にしているという状況について、盛んな質疑応答が交わされました。



ベビーリーフ栽培圃場における研修状況

－公益財団法人 那珂川沿岸土地改良基金協会主催－

# 先端技術を活用した省力化と高収量生産

## 那珂川沿岸地域用水営農推進講演会を開催

- (1) 開催日 平成30年11月28日(水)  
(2) 開催場所 ケーズデンキスタジアム水戸  
多目的室(水戸市立競技場)  
(3) 参加者数 51名  
(4) 演題と内容  
演題①「横田農場における農地の集約・規模拡大による  
低コストとICTの活用について」  
講師 横田修一氏(有限会社 横田農場 代表取締役)



横田講師の講演状況

- 横田講師より、水田農業の多様性(地域性、気候、経営規模、人材、経営理念等)における、「横田農場」の地域性、経営戦略に基づくICT等技術を導入した内容の報告が講演されました。  
※ICTとは→情報通信技術
- 横田農場の水稻生産面積 142ha(社員11名(生産6名、精米2名、研究1名、加工2名)、パート6名(加工部門))
  - 特徴①規模拡大で2.5km四方に集約(平坦で畦ぬきによる連担化)。  
圃場数の減少による効率化と規模拡大戦略と区画に合わせた作業体系へのシフト。
  - 特徴②1台の田植機、コンバインで140haを作業(小さな改善と効率化の積み重ねで常識を大きく超える)。
  - 特徴③生産米のほとんどを直売(消費者へ販売、業務用米、加工用米、政府備蓄米などで販売価格の安定とリスク分散)。
  - 特徴④横田農場のファンづくり(災害や市場価格の変動に影響を受けないファンの獲得)。
  - 特徴⑤ICTの活用と将来の課題(数値化→経験と勘からの脱却)。  
(コスト削減の限界。収量・品質を向上して収穫物あたりのコスト削減を目指す)
- ※現場で求められるICTは誰が使うのか?
  - 特徴⑥技術革新の原点として、目指す組織の姿は、自ら考えて行動する技術者(農家)。  
目標は互いに連携して効率を最大化する姿。自立分散型、アメーバ型組織。  
(様々な環境の変化(地域、市場、気候、政策など)に順応できる、柔軟な組織構造)
- 投入コストを限界まで削減した結果→種苗・肥料・農薬・機械減価償却費は、一般的の半分から3割以下。
- 残されたコスト削減の課題対応→人件費は一人あたり耕作面積の拡大で補う。  
→60kgあたり生産費(収量の向上)は規模拡大しても精緻な管理で補う。
- 収量を増やすためのICT→圃場毎の収量把握。減収要因の解析。  
(減収要因の特定は困難だが、状況推測するにも多くのデータが必要)
- これからのスマート農業に期待するもの→耕作面積の拡大(50ha/人)  
(ドローン、ロボット農機等の活用による栽培体系の革新)  
(灌漑水の高度な制御・利用→収量、品質の向上と省力化)

## 演題②「茨城県における省力低コスト

### 高収量生産技術の実証と実践」

講師 森拓也氏  
(茨城県農業総合センター農業研究所 作物研究室 主任研究員)



森講師の講演状況

※地域戦略目標:米生産コストを現状から2割削減

# を目的とした営農推進講演会を開催！

「実証研究」→高密度育苗、直播栽培、流し込み施肥、水田センサー、収量コンバイン等の実証  
→茨城県版スマート水田農業モデルの構築

「要素技術開発」→流し込み施肥技術のさらなる高精度化、高能率化

- 研究の達成目標 1. 茨城県におけるスマート水田農業モデルの研究実証（実証研究）  
2. 省力的な水稻施肥技術（流し込み施肥）の開発（要素技術開発）

※スマート農業とは → ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業

- 取り組み経過 H30途中経過は、見込みとしてH30 産米生産費（%）のコスト削減はH27比-7%~-20%であり削減目標を達成する見込み。（-7%は台風24号の影響で大幅に減収）

演題①②における、両講師の茨城の水田農業を振興・発展させていくという講演内容は、那珂川沿岸地区における農業振興への提案となりました。

－公益財団法人 那珂川沿岸土地改良基金協会主催－

## 茨城県農地中間管理機構からのお知らせ

### 農家のみなさんへ 貸したい農地ありますか？

**農地を貸したい**  
・規模縮小・経営転換・農地相続  
でお困りの方。

**農地を借りたい**  
・規模拡大・新規参入  
をお考えの方。

**「農地集積バンク」**  
茨城県農地中間管理機構  
機構が借り受けられる  
農地の基準（主なもの）  
・農業振興地域内の農地。  
・10年以上の貸付が可能。  
・土地改良区賦課金の延滞がない。  
・再生作業が困難な遊休農地ではないこと。  
・隣接地との境界が確定されている。  
・大型農業機械が通行可能な進入路が確保されている。

茨城県の農地集積・集約化を推進しています

最寄りの市町村（農政担当）または、茨城県農地中間管理機構まで、お気軽に問い合わせ下さい。

**茨城県農地中間管理機構 ☎ 029-239-7131**  
(公益社団法人茨城県農林振興公社) 水戸市上国井町3118-1

■ホームページ <http://ibanourin.or.jp/nourin/kanri/>

茨城県農林振興公社

検索



# 中央要望活動（国会議員、農林水産省、財務省）を実施しました

中央要望活動については、那珂川沿岸農業水利事業推進協議会 本間会長（前ひたちなか市長）を先頭に衆・参議院議員及び農林水産省、財務省へ下記の内容で実施しました。

## （1）実施日 平成30年7月17日（火）（国予算概算要求前）

- 要望主旨 平成31年度事業の予算確保と国営造成の基幹水利施設管理事業の制度拡充に関する要望  
①農業農村整備事業予算の確保 …………… 農地・水利施設等の適切な保全や機能向上のため  
②国営事業の予算確保 …………… 用水の通水による事業効果の早期発現のため  
③関連事業の予算確保 …………… 那珂川沿岸地域への早期通水のため  
④国営造成施設に係る基幹水利施設管理事業の制度拡充  
………… 国の負担割合の嵩上げによる将来にわたっての適正管理の確保のため
- 要望先 **（衆議院）** 田所議員、額賀議員、梶山議員、神田議員、石井議員  
**（参議院）** 岡田議員、上月議員、進藤議員、藤田議員、郡司議員  
**（農林水産省）** 大臣、副大臣、大臣政務官、大臣官房予算課長、農村振興局（局長、次長、総務課長、整備部長、設計課長、技術調査官、設計課長補佐、水資源課長、水資源課長補佐）
- 要望者 （会長）本間前ひたちなか市長、山田東海村長、田口ひぬま川土地改良区理事長、川又干波湖土地改良区理事長、雨澤那珂川統合土地改良区理事長、雨谷渡里台地土地改良区理事長、西溪推進協議会常務理事、水戸市・茨城町・大洗町・城里町代理者

## （2）実施日 平成30年11月9日（金）（国予算概算決定前）

- 要望主旨 平成31年度事業の予算確保と国営造成の基幹水利施設管理事業の制度拡充に関する要望  
①農業農村整備事業予算の確保 …………… 農地・水利施設等の適切な保全や機能向上のため  
②国営事業の予算確保 …………… 用水の通水による事業効果の早期発現のため  
③関連事業の予算確保 …………… 那珂川沿岸地域への早期通水のため  
④国営造成施設に係る基幹水利施設管理事業の制度拡充  
………… 国の負担割合の嵩上げによる将来にわたる公共公益的機能の維持のため
- 要望先 **（衆議院）** 田所議員、額賀議員、梶山議員、石川議員、神田議員、石井議員、浅野議員  
**（参議院）** 岡田議員、上月議員、進藤議員、藤田議員、郡司議員  
**（農林水産省）** 大臣、副大臣、大臣政務官、大臣官房予算課長、農村振興局（局長、次長、総務課長、整備部長、設計課長、技術調査官、設計課長補佐、水資源課長、水資源課長補佐）  
**（財務省）** 大臣、副大臣、大臣政務官、主計局（局長、次長、総務課長、主計官（農林水産担当）、主査（農林4係））
- 要望者 （会長）本間前ひたちなか市長、海野前那珂市長、山田東海村長、雨澤那珂川統合土地改良区理事長、雨谷渡里台地土地改良区理事長、田口ひぬま川土地改良区理事長、西溪推進協議会常務理事、水戸市・茨城町・大洗町・城里町・中妻地区土地改良区代理者



農林水産省（大臣政務官）への要望状況



財務省（主計局主計官）への要望状況

# 農業用水の有効活用で農産物を安定的に生産しよう！

## 平成30年度畑地かんがい営農用水実証圃の調査結果から

公益財団法人那珂川沿岸土地改良金協会では、営農推進対策事業として、那珂川沿岸地域の農業生産者（受益者）にご協力をいただきながら畑地かんがいの効果を確認するための実証圃を設置しています。

調査内容は、かん水区と無かん水（天水のみ）区を設置し、かん水による生育・収量のデータを収集分析し、結果をとりまとめています。

品目	品種	ほ場位置
1 アスパラガス	ウェルカム	城里町増井
2 しょうが	近江生姜	城里町上入野
3 加工かんしょ	ベにはるか	常陸大宮市三美
4 ブロッコリー	ピクセル・グランドーム	水戸市中河内町
5 はくさい	おもむき	水戸市飯富町
6 ほうれんそう	ミラージュ	水戸市岩根町
7 露地ねぎ	夏扇3号	常陸大宮市三美

・調査作物【7品目】

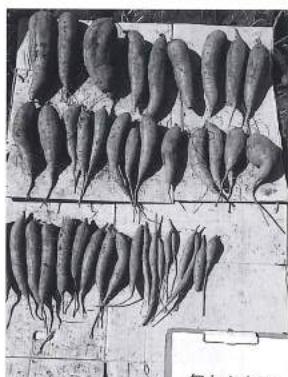
### 「しょうが」



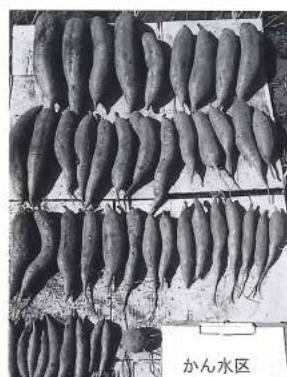
生育比較（左：無かん水区 右：かん水区）



### 「加工かんしょ」



収穫物比較（左：無かん水区 右：かん水区）



### 調査条件

調査地区：城里町上入野

品種：近江生姜 収穫：10月28日～11月3日

畝間：150 cm 株間：30 cm×2条

かん水方法：動力噴霧機にて散水

かん水量：1,000 (ℓ /10a/ 回) を7回

調査地区：常陸大宮市三美

品種：ベにはるか 収穫：10月22日～10月29日

畝間：95 cm 株間：30 cm

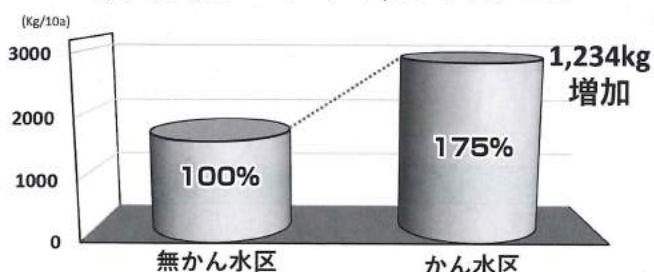
かん水方法：かん水チューブにより散水

かん水量：20,000 (ℓ /10a/ 回) を5回

### 調査

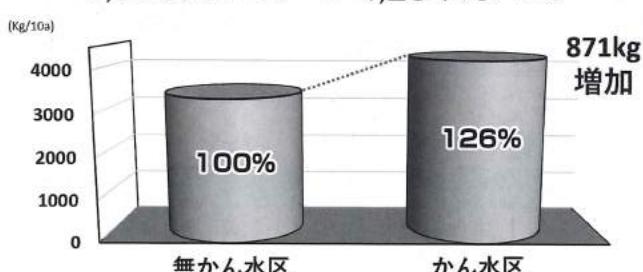
### 結果 (10a当たりの概算収量)

$$1,640 (\text{kg} / 10\text{a}) \Rightarrow 2,874 (\text{kg} / 10\text{a})$$



・かん水区では、1株当たりの重さが無かん水区と比べ増加、収量が75%増加した。

$$3,363 (\text{kg} / 10\text{a}) \Rightarrow 4,234 (\text{kg} / 10\text{a})$$



・かん水により1株いも数と1個当たりのいも重が増加し、収量が26%増加した。  
(A品の収量は、かん水区で31%増加した)

# 着実に工事が進む国営

## 国営那珂川沿岸農業水利事業の実施状況とこれからの実施予定について

### 1. 事業概要

#### (1) 概要

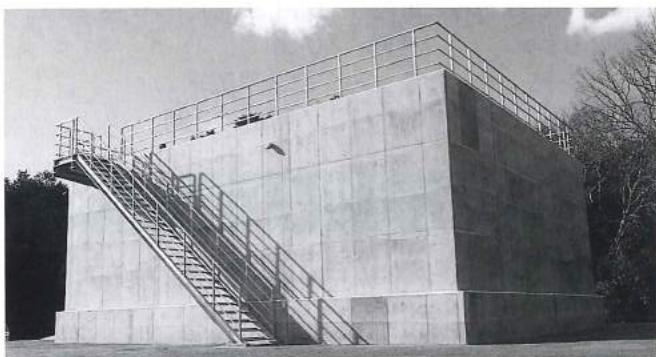
- 事業名 国営かんがい排水事業  
○地区名 那珂川沿岸地区  
○関係市町村 茨城県水戸市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町、東海村  
○事業工期 平成4年度～平成36年度（予定）  
○受益面積 8,617ha（水田 6,687ha、畑 1,930ha）  
（那珂川沿岸土地改良区受益面積 4,770ha（水田 2,931ha、畑 1,839ha）  
○主要工事 •ダム…新設1ヶ所（有効貯水量650万m<sup>3</sup>）（完成） •頭首工…1ヶ所（管理施設除き完了）  
•揚水機場…新設1ヶ所、改修4ヶ所（工事中） •水路…新設61km、改修62km（工事中）  
○総事業費 867億円（平成30年度時点）

### 2. 平成30年度執行状況

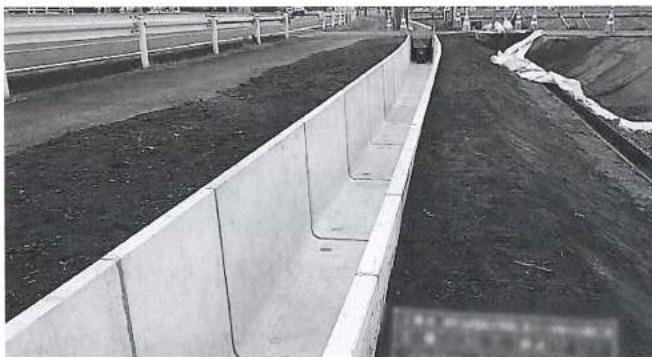
#### (1) 工事

区分	施設名	関係市町村	内 容
頭首工	小場江頭首工	改修	常陸大宮市・ 城里町 管理橋補修（塗装完成） ゲート電気設備、管理橋（防護柵改修）、ゲート操作室
揚水機場	渡里揚水機場	改修	水戸市 機場（下部工）
	三美機場	新設	常陸大宮市 ゲート設備、機場（下部工）、ポンプ設備、電気設備
用水路	小場江堰幹線水路	新設	常陸大宮市 国営取水口、取水口ゲート
	かつら幹線水路	改修	城里町 L=1,320m（開水路）
	三美送水路	新設	常陸大宮市 L=1,220m（管水路）、吐水槽
	高根幹線水路	新設	水戸市 L=1,890m（管水路）、調圧水槽、舗装復旧 A-3,420 m <sup>2</sup>
	湊幹線水路	新設	ひたちなか市 L=1,860m（管水路）
	水那幹線水路	新設	水戸市 L=1,780m（管水路）
		新設	城里町 L=500m（管水路）
	渡里幹線水路	改修	水戸市 L=260m（暗渠完成）、L=275m（暗渠）

※協議・調整の状況により変更する場合があります。



高根幹線水路（内原調圧水槽）



かつら幹線水路据付状況

#### (2) 調査・測量・設計

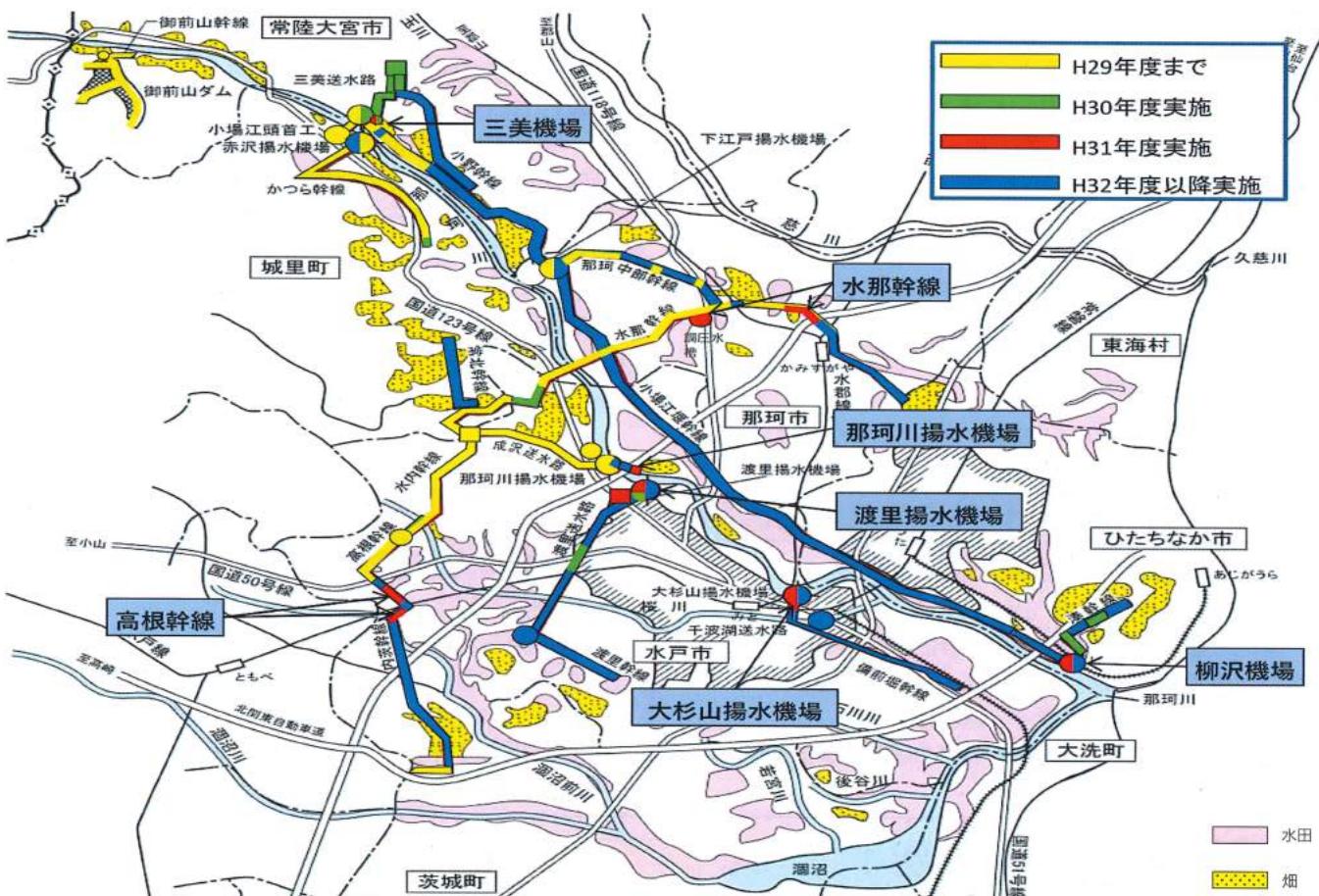
区分	施設名	関係市町村	内 容
ダム	御前山ダム	新設	常陸大宮市 耐震性能調査
揚水機場	渡里揚水機場	改修	水戸市 実施設計（ポンプ）
	大杉山揚水機場	改修	水戸市 実施設計（ポンプ）
用水路	千波湖送水路	改修	水戸市 実施設計（L=900m（暗渠））
	渡里幹線水路	改修	水戸市 実施設計（L=7,490m（暗渠、開水路））

# 那珂川沿岸農業水利事業！

## 3. 平成31年度執行予定

### (1) 工事

区分	施設名	関係市町村	内容
揚水機場	三美機場	新設 常陸大宮市	機場（下部、建屋）、ポンプ・電気設備
	那珂川揚水機場	新設 水戸市	取水口、樋管、ゲート設備
	柳沢機場	新設 ひたちなか市	機場（下部、建屋）※調整池含む
	大杉山揚水機場	改修 水戸市	機場（下部、建屋）、取水口、樋管、ゲート設備、ポンプ・電気設備、一部送水路
用水路	渡里揚水機場	改修 水戸市	機場（建屋）、吐出し水槽、ポンプ・電気設備
用水路	高根幹線水路	新設 水戸市	L=1,970m（管水路）
	水那幹線水路	新設 那珂市	調圧水槽、L=1,500m（管水路）



### (2) 調査・測量・設計

区分	施設名	関係市町村	内容
用 水 路	小場江堰幹線水路（中流区間）	改修 那珂市	測量・設計
	備前堀幹線水路	改修 水戸市	調査・設計 (L=6,700m)
	常北幹線水路	新設 城里町	基本設計 (L=3,700m)

※上記の工事及び業務は、予算措置や地元調整、前年度業務の結果等により変更する場合があります。

#### 【国営事業所より一言】

那珂川沿岸農業水利事業推進協議会並びに関係農家の皆様には、平素より国営那珂川沿岸農業水利事業の推進に対しましてご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成31年度は、工事では那珂川揚水機場及び高根幹線水路の新設や大杉山揚水機場の改修などに着手し、調査設計では小場江堰・備前堀・常北幹線水路などの設計検討を実施する予定としてあります。

工事や調査設計においては、地元関係者並びに関係機関と十分な協議・調整を図りながら進めて参りますので、引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

# 投稿らん

## 「高品質作物の生産を目指して」

常陸大宮市三美 川澄道徳  
(三美地区畠総整備事業推進協議会副会長)

当地区は、那珂川を南に望む高台に位置し、かつては葉たばこの産地として知られ、通りを歩けばたばこ以外は見えないと言わされた時期もありました。高齢化と耕作条件の変化により、十数年前にたばこ作は途絶えましたが、その間農地を休ませることが嫌われ、基盤整備の話が出てもまとまらずに経過いたしました。

農地の状態は、不定形小規模圃場で所有地は点在し、農道は狭く強い雨が降ると圃場に入れないということも度々でした。

ようやく状況改善の気運が高まり、県北農林事務所、市役所の指導のもと平成20年に事業採択となり、畠地帯総合整備事業がスタートすることになりました。しかし、現実には全員の意思統一に時間がかかり着工が遅れましたが、平成27年第1工区の整備完了から順次営農を開始しております。

現在は、農地の面整備は完了し、道路の付帯工事を残すのみとなってあります。点在した農地の集約化が進み、大規模圃場となり、農道も拡幅され大型機械の使用が可能になり作業の効率化が一層進んであります。

地域農業振興のためには若い担い手が必須ですが、

当地区も農業従事者の高齢化と若者の農業離れが進み、担い手不足が深刻化しております。待望の基盤整備が進み地域農家による営農が本来ですが、現在は多くの部分を担い手である(株)JA常陸アグリサポートに農地を集積しております。

これから営農は、消費者の要望に応えられる高品質な作物を安定的に生産する必要があり、その地域に適した作目の選定や管理が重要です。現在、ねぎ、甘藷、大豆、麦、そば等を栽培しておりますが、近年、異常気象が多く夏の干ばつの影響は深刻であり、那珂川沿岸農業水利事業はこれら異常気象にも対応し、乗り越えられるものとして期待しております。

当地域では、現在既設の井戸から水を汲み上げタンクで運び農地にかん水しておりますが、多くの時間と労力を要しても水が十分に行き渡らず、作物の生育にも影響しています。かん水施設の整備完了が待たれますが、今各圃場への配管と蛇口の取り付けは終わっております。山の高台に吐水槽を設置し配水することになりますが、水源の三美機場の建設と吐水槽までの配管工事が現在進められています。平成32年の春には通水の予定ですが、那珂川の水を十分活用し今まで以上に高品質な農産物を生産し、消費者に歓迎され、当地域が優良生産地として永続的に評価される様に願っております。

## 那珂川沿岸土地改良区からのお知らせ (TEL・FAX 029-227-0311)

### ※組合員の資格喪失の手続きについて

- 那珂川沿岸受益地内において、  
①農地の権利を移動した場合…農地の売買・賃貸借等  
②組合員が変わる場合……相続・経営移譲等  
③住所・氏名が変わる場合…転居等  
・こんなときは、組合員資格喪失の届け出をお願い致します。

### ※農地転用等の手続きについて

- 受益農地を転用される場合には、  
①受益農地を宅地・店舗等へ転用する場合  
②公共事業（道路等）で農地が買収される場合  
・このようなときは、農地法第4条、第5条に基づく農地転用の手続きが必要となります。  
(農地転用等の通知・地区除外申請)

## 【問い合わせ先】

- 関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所  
☎ 029 (227) 7571
- 茨城県県央農林事務所土地改良部門  
那珂川沿岸農業水利事業推進課  
☎ 029 (224) 3410
- 茨城県県北農林事務所土地改良部門  
☎ 0294 (80) 3350
- 那珂川沿岸農業水利事業推進協議会  
公益財団法人那珂川沿岸土地改良基金協会  
那珂川沿岸土地改良区  
☎ 029 (227) 0311

## 編集後記

当協議会の会長でありました本間源基（前ひたちなか市長）様が、平成30年11月26日付けで退任されました。

本間様には当協議会会員として16年間。会長として平成23年6月より約7年半務められ、那珂川沿岸地区の国営・関連事業の推進及び農家負担軽減対策に対し先頭に立ち、ご尽力いただきお礼を申し上げます。

さて、本年度も事業推進活動として、農業用水を活用しての営農展開や自然エネルギー開発（小水力発電）による維持管理費の農家負担軽減をしている先進地区（栃木県・埼玉県）において現地研修会を開催し、水の可能性と重要性を改めて認識いたしました。

引き続き、皆様方と共に本事業の推進を図って参りたいと考えてあります。今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。  
(事務局)